

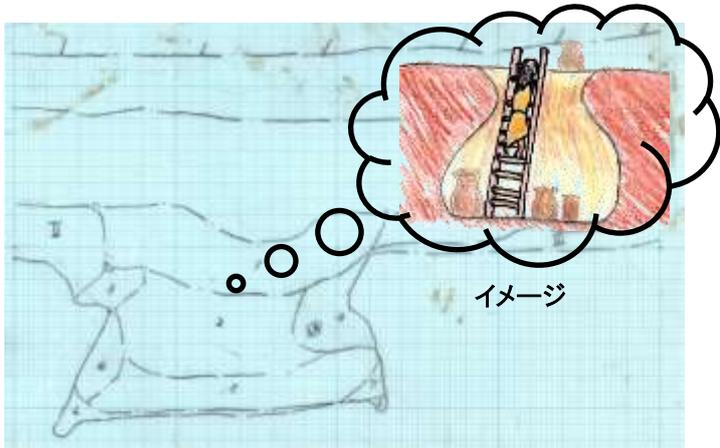
金堀沢遺跡

1 六ヶ所村教育委員会による試掘調査

金堀沢遺跡は小川原湖の北西に面し、小高い丘の上に位置しています。平成2年に六ヶ所村教育委員会の発掘調査によって、縄文時代の住居や貯蔵穴、墓、平安時代の住居跡が発見され、縄文時代と平安時代の集落遺跡であることが明らかになりました。



金堀沢遺跡地図



縄文時代の貯蔵穴

フラスコのように掘られた穴が発見されました。縄文時代の貯蔵穴だったと考えられます。クリなど木の実を保存するための施設だと考えられます。



縄文時代の子供の墓？

縄文土器が伏せられた状態で発見されました。縄文時代の子供のお墓であったと考えられます。



縄文時代の出土遺物



平安時代の出土遺物

2 東海大学による発掘調査

ろっかしょむら へいあんじだい じんこう きゆうぞう ひとびと ほんしゅう みなみがわ いじゆうしゃ
 六ヶ所村では平安時代に人口が急増しました。その人々は本州の南側からの移住者でした。では、
 なぜここにやってきたのでしょうか。東海大学文学部教授松本建速氏は、当時の人々の生活ぶり知る
 ために調査しています。2014年度から発掘調査が始まり、様々な発見がありました。



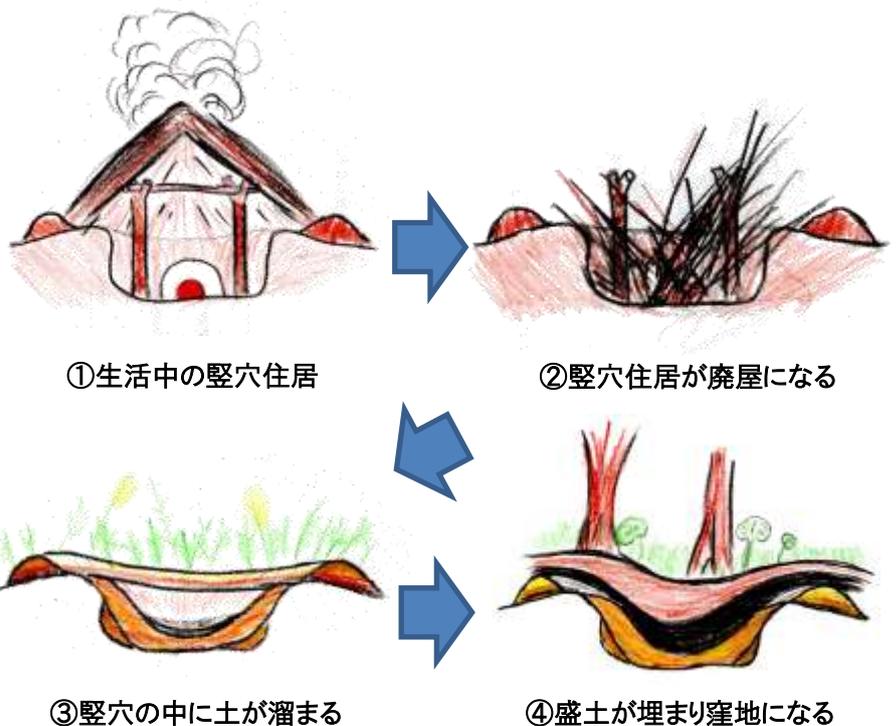
金堀沢遺跡での主な発見

3 土の重なりは時間の経過

じめん ほ かそう
 地面を掘ると、下層にしたがって
 つち いろ かわ
 土の色が変わってきます。これは
 じだい 自然 や じんげん 人間の 働きか
 けが異なるからです。

みな はくつ どうぐ ほ お
 皆さんが発掘の道具で掘り起こし
 たその土は、長い年月をかけて少し
 ずつ自然が積み重ねたものです。

じっくり、土で時代の積み重なりを
 あじ 味わってみてください。



図・写真

金堀沢遺跡地図…六ヶ所村教委2010『わたしたちの六ヶ所村』p115より引用、編集
 縄文時代の貯蔵穴…1991年 六ヶ所村教育委員会実測図に菅野作成の絵を添付
 縄文時代の子供の墓…1991年 六ヶ所村教育委員会撮影
 縄文時代の出土遺物…2019年 菅野撮影
 平安時代の出土遺物…2019年 菅野撮影
 東海大学の発掘調査風景…2017年 松本撮影 2019年菅野加筆
 フイゴの羽口…松本・秋田・宮原・栗田・菅野2018『青森県六ヶ所村金堀沢遺跡第1次～4次調査概報—埋まりきらない遺跡の研究—』『海と考古学』より引用
 金堀沢遺跡の窪地1,000年史のイラスト…2019年 菅野作成